

環境自主行動計画と環境会計の実績

環境保護のために中期的な目標を設定して計画的な環境保全活動を全社的に推進し、それにかかわる投資と費用、その効果について定量的な把握に取り組んでいます。

■ 環境自主行動計画と実績

環境目的	重点課題	2020年度計画	2020年度実績	評価		
温暖化防止	CO ₂ 総排出量削減	前年度比 1%以上削減	2019年度比 9.2%削減	😊		
	温室効果ガスの削減	生産CO ₂ 原単位削減	前年度比 1%以上削減	2019年度比 5.6%増加	😞	
		使用エネルギー原単位削減	前年度比 1%以上削減	2019年度比 6.1%増加	😞	
資源循環	廃棄物排出量の削減	廃棄物原単位の削減	社外処理委託量原単位 前年度比 2%以上削減	2019年度比 15.9%増加	😞	
		廃棄物のリサイクル	社外リサイクル率99.0%以上	98.1%	😞	
	現場端材の回収 リサイクル推進	端材回収・再利用推進	回収量：約0.68万t	😊		
汚染防止	環境負荷物質削減	PRTR対象VOC 大気排出量削減	前年度比 2%以上削減	2019年度比 11.3%削減	😊	
環境管理	環境保全	環境事故ゼロ	環境事故ゼロ	(下水道)排水基準オーバー発生	😞	
	環境情報開示	環境報告書制作・開示	環境報告書制作・開示	環境報告書作成・開示 (冊子&Webサイト)	😊	
	廃棄物適正処理	<ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェスト化推進 廃棄物適正処理推進 	<ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェスト化推進 廃棄物適正処理推進 	<ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェスト化推進 廃棄物適正処理推進 	😊	
	環境関連法順守	監査での重大な指摘なし	監査での重大な指摘なし	監査での重大な指摘なし (外部機関による廃棄物管理監査)	😊	

環境会計

ケイミューでは、環境に配慮した経営を推進するために環境保全に投じたコストとその活動に伴う経済効果などを定量的に把握しています。

2020年度の設備投資コストは2億8,800万円となりました。主な内訳は、水質対策に関する公害防止コスト、蒸気配管更新などのエネルギーロス改善やチラー、LED照明機器などの高効率機器への更新に伴う地球環境保全コスト、再資源化のための施設のコストなどによるものです。

製造事業所・開発部門では、回収パレットの再利用や廃棄物リサイクルの取り組み、環境性能の高い機器の導入や燃料への転換などを進め、その結果、企業内経済効果は2億1,900万円となりました。

当社では今後も環境保全への取り組みを強化し、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

■ 2020年度企業内経済効果(製造事業所・開発部門) (単位:百万円)

	項目	経済効果	主な内容
費用削減	エネルギー費用の削減	97	乾燥機、養生庫の断熱効果 高効率の照明、機器への更新 乾燥、養生条件の適正化 LPG→都市ガスへの燃料転換
	廃棄物処理費用の削減	2	廃棄物リサイクル (廃塗料、スクラップ材、 再生材料など)
	上下水費用の削減	0	
	包装材費用の削減	112	回収パレットの再利用
	物流費用の削減	0	
収益	事業場廃棄物の リサイクルに関わる 有価物売却益	8	金属廃棄物や廃油、 木くずの有価物化
	使用済み製品リサイクル に関わる有価物売却益	0	
合計		219	

評価 : 目標達成 : 未達成

	要因と留意事項	2021年度計画	2022年度計画	2023年度計画
	<ul style="list-style-type: none"> 生産量減の影響により、CO₂排出総量減 個別省エネテーマは計画分+αで推進、成果も確保 減産による原単位悪化 不良率の悪化 ライン立ち上げ、下げ回数増加によるエネルギーロス増 原単位の大きい商品比率増 	前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減
		前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減
		前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減
	<ul style="list-style-type: none"> スクラップ材増配による製品くず減 塗料廃液の原料化推進 不良品増による製品くず増 ライン立ち上げ、下げ回数増加や新商品試作増加によるブローク増 	前年度比 2%以上削減	前年度比 2%以上削減	前年度比 2%以上削減
	<ul style="list-style-type: none"> 複合材料廃棄物を熱利用した事前処理による直接埋立減 旧配合品廃棄による製品くず増 	99.0%以上	99.0%以上	99.0%以上
	新型コロナによる市場低迷(新設住宅着工数減少)などの影響	端材回収 リサイクル推進	端材回収 リサイクル推進	端材回収 リサイクル推進
	<ul style="list-style-type: none"> 生産量減により削減 屋根材配合変更による削減 溶剤使用品種の生産増 	前年度比 2%以上削減	前年度比 2%以上削減	前年度比 2%以上削減
	改善措置完了(県と整合済)	環境事故ゼロ	環境事故ゼロ	環境事故ゼロ
		環境報告書作成・開示	環境報告書作成・開示	環境報告書作成・開示
	<ul style="list-style-type: none"> 自治体の管理ルール厳格化対応 新型コロナの影響により内部環境監査は 書面監査へ計画変更し監査フォロー中 	監査での重大な指摘なし 廃棄物適正処理推進	監査での重大な指摘なし 廃棄物適正処理推進	監査での重大な指摘なし 廃棄物適正処理推進

2020年度環境保全コスト(製造事業所・開発部門)

(単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	投資額	経費	
事業エリア内コスト	公害防止コスト	公害防止(大気、水質、土壌、騒音、振動、悪臭、地盤沈下など)	7	277
	地球環境保全コスト	地球温暖化防止及び省エネルギー、オゾン層保護など	160	225
	資源循環コスト	廃棄物の削減・リサイクル・適正処理、水使用量の削減	119	511
小計		286	1,013	
上・下流コスト	使用済み製品の回収・リサイクル・適正処理・外部団体への委託費用	0	3	
管理活動コスト	環境マネジメントシステムの整備・運用、情報開示、環境広告、従業員教育等	0	239	
研究開発コスト	技術開発コスト	環境配慮を第一目的とした要素技術開発及び生産のための設備導入	0	18
	包装・物流開発コスト	環境対応包装の開発・導入、物流における環境負荷抑制のための研究開発	0	0
	小計		0	18
社会活動コスト	環境保全を行う団体や地域住民が行う環境活動などへの寄付と支援	0	0	
環境損傷対応コスト	過去の汚染(地下水、土壌など)に関する調査及び対策など	2	13	
合計		288	1,286	

※設備投資額、費用額において、全額を環境保全コストと判断できない場合は、差額集計あるいは比率集計(按分集計)を行っています。
経費は人件費と設備投資の減価償却費および費用を含んでいます。